

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
 発行人 阿部 一彦
 東京都豊島区目白3丁目4の3
 デアダンクビル4階
 TEL03-3565-3399(代)
 FAX03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of Organizations of the Disabled Persons (JFOD)
 年間購読料 正会員1部 300円
 非会員1部 1000円

障害者政策委員会 新しい顔ぶれでスタート 委員長に石川准氏

10月21日、内閣府(東京都千代田区)において、第30回障害者政策委員会が開催されました。前期委員の任期満了に伴い、今回から新たに30名(新任10名、重任20名)の委員が任命され、日身連からは阿部一彦会長が構成員として参画しています。(4面に委員名簿を掲載)

委員会ではまず、加藤勝信内閣府特命担当大臣からのあいさつがあり、各委員の自己紹介のあと、委員長の出選を行いました。委員長は、前期に引き続き石川准氏(静岡県立大学国際関係学部教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授)が選出されました。石川委員長はあいさつの中で、「この政策委員会は、障害者権利条約の国内実施におけるPDCAサイクルの



第30回障害者政策委員会の模様

確認されました。委員

P(プラン・計画)とC(チェック・監視)を担う重要な会議」と位置づけ「政府と市民社会の架け橋となる会議を目指したい」との考えを述べました。今期委員会の大きな役割のひとつとして第4次障害者基本計画(平成30~34年度)の策定があります。今後のスケジュールとして、計

からは、28年は障害者差別解消法の施行元年なので、現時点における何らかの評価を入れ込むべき、現在の基本計画と障害者権利条約の間の差を埋める

ハーキン前米上院議員にADA法を学ぶ ケネディ米国大使主催レセプションも盛大に

9月27日、アメリカの前上院議員で世界初の障害者差別禁止法であるADA法(アメリカ障害者差別禁止法)成立の立役者であるトム・ハーキン氏を招き、日本障害者フォーラム(JDF)主催の特別講演と、キャロライン・ケネディ米国大使主催レセプションが催され、阿部一彦日身連会長(JDF代表)が出席しました。



講演をするハーキン前米上院議員

会場となった衆議院議員会館には、200名を超える参加者が集まりました。特別講演は、まず主催者の阿部会長から「ハーキン氏から米国における経験を学びながら話し合える機会を持てたことは大変貴重なこと。官民を問わず、障害を理由とする差別をなくしていくことは、権利条約の実施のうえでも私たちの責務だ」との挨拶で始まりました。続いて「Lives Worth Living」の映画上映、



レセプションに参加する阿部会長を出迎えるケネディ大使とハーキン氏(大使公式ツイッターより)

恭久厚生労働大臣の乾杯に続いて行われた辻井伸行氏のピアノ演奏には会場の誰もが魅了されました。笑顔があふれ、和やかな歓談のなかレセプションは閉会しました。

ためにも、新たな基本計画の策定には十分な議論が必要、などの意見が出されました。次回の委員会は12月12日に開催される予定です。